

日々の田高（能登訪問の報告会）

5月1日（木）の生徒総会后、生徒会より3月末に行った能登訪問プロジェクトの報告会をしました。

令和6年度のぽろにあ祭での収益金をお渡しする機会を通じ、能登半島地震や豪雨災害にあった現地を訪れることで、災害の一端に触れ、自分事として田高生へその学びを還元し、防災・減災への意識を高めるなどの目的で今回のプログラムをしました。報告会では、2日間、現地で見聞きして体験したことやそれまでにいたる打ち合わせなどを、全校生徒や先生方に向けて発表しました。

この経験を通して、実際に行くことでテレビやスマホでは知ることのできない現地の状況や現地の方々の地元に対する愛着、復興に向けての強い思いを感じることができ、実際に行って経験することの大切さを知りました。

プロジェクトを行うにあたり、今回の企画をつなげてくださったジョージ防災研究所の小野修平さん、現地でお話してくださった方々、航空費を用意してくれた月日会・田園調布教育財団の皆様、オンライン交流の準備を手伝ってくれた先生方、現地へ早く赴いて現地の方々へ企画の声掛けをしてくれた東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒など、様々な方々の協力があって行うことができました。たくさんの想いや学び、つながりを体験することのできたプロジェクトでした。ご協力くださった皆さんには感謝してもしきれないです。

最後に、この能登訪問プロジェクトは私たちにとって貴重な体験になりました。この記事を読んでぜひ皆さんも実際に足を運んでみたり、改めて災害を自分事として考えてみてはいかがでしょうか。

（生徒会執行部）

◆報告会の様子◆

